

令和元年 8 月 29 日 部長会議 会議録（要旨）

- 日 時 令和元年 8 月 29 日（木）午前 9 時 00 分～午前 10 時 40 分
- 会 場 新庁舎 応接会議室
- 出席者 市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、市民環境部長、健康福祉部長、次世代支援部長、経済部長、建設部長、議会事務局長、教育部長、総務課長、総合政策課長、財政課長、秘書広報課長、危機管理防災課長、人権・男女共同参画課長、秘書係長、防災係長

1. 開 会

2. 市長訓示

新庁舎への引っ越しが完了して初めての部長会議となる。新しい建物に魂を入れるのは、部長を中心とした職員である。今後も精いっぱい市民サービスに努めていただきたい。

市報 9 月号の号外で、千曲市が合併後 15 年間で何をしてきたのか、主な事業を掲載している。市民から旧更埴市の事業が多いという声があるが、それぞれ公平に進めてきたことは、内容を見てもらえば分かると思う。そのような声があったら、この資料により説明をして欲しい。

昨日、旧第 4 通学区の高校改革の会議があった。様々な課題があるが、県も改めて学びの改革と再編計画を分けて考えているようだ。我々は屋代南高校の存続に向けて、具体的な協議をしたいと思っている。今後も高校改革については様々なことがあると思う。屋代南高校は、地域の経済活動にも貢献している学校であるし、地域貢献の高い学校である。そして彼らはこの地域に残る人材であるので、高校改革にはしっかりと取り組んでいきたいと思っている。

全国 55 市町村が東京の秋葉原に集まり、全国ふるさと甲子園が開催された。審査で選ばれた 55 の地域しか参加できないイベントであるため、レベルが高いと考えている。その中で千曲市は「スイーツ部門」で 2 位、「ロケツーリズム賞」で 2 位、「行きたいまちナンバーワン部門」で 3 位となった。過去にない大きな成績を収めた。こういったことを大いに市民に知っていただき、我が千曲市の良さを PR して欲しいと思う。

現在、内田副市長を中心に進めていただいている屋代の 35ha の開発について、ここに来て、決断をしなければならない事項がたくさんある。重大な局面を迎えているので、担当部長には心して仕事にかかって欲しい。

課題はたくさんあるが、順調に千曲市が発展できるよう、引き続き皆さんの力をお借りしたい。

3. 会議事項

（1）長野県市長会総会資料について【市長】

・説 明

（市長）豚コレラが松本まできている。イノシシが媒介していると思われるため、北信地方に入ってくるのも時間の問題だと思う。市内にも養豚農家が 1 件ある。何としても守らなければ

いけないので、経済部には豚コレラ発生防止のための取り組みを進めてもらいたい。

人・農地プランの実質化については、国の方針において、全ての市町村が全ての地域で人・農地プランの見直しに取り組むことになっている。実効性の高い将来ビジョンを作るため、人・農地プランの実質化3要件が示されている。新たな農業対策の柱となる。

県内市町村におけるICT・先端技術の展開について、2019年度の取り組みが示されている。特に国はマイナンバーカードの普及に力を入れているが、なかなか進んでいない。保険証等の活用が始まり、公務員は本年度中のカードの取得が求められている。オープンデータの普及活用という課題もある。それぞれの部局で検討して欲しい。

信州まるごと健康チャレンジ2019は、10月1日から12月31日までのうち60日間の取り組みになるが、健康福祉部において資料を考慮しながら進めて欲しい。

SDGsについて、県では様々な計画の中に17の目標と169のターゲットを割り振りながら入れていく。SDGsのどこにどの事業が該当するのかという確認作業を行っている。県はSDGs未来都市の認定を受け、副知事を先頭にSDGsの定着に取り組むと説明があった。

長野県自治体情報化推進フェア2019については、既に8月27日に開催済みであるが、自治体の情報化に向けての様々な課題が浮き彫りになっている。県内全体でICTの共同化が図ればよいが、各市町村の事情があって、なかなか一本化できないという実態がある。

その他、いくつかの情報があるが、県からの一番強い要請は豚コレラであった。千曲市に広がる可能性もある。

・質疑等

(副市長) 豚コレラについては、昨日、長野地域振興局から連絡があり、7月26日付で農政部から各市町村に対して出ている通知の内容について、ぜひ実行して欲しいとのこと。経済部にはすぐに対応をお願いした。

(経済部長) 林道の起点、終点に消石灰を散布済みで、注意喚起の看板も設置済み。ホームページやSNSで豚コレラに対する情報を提供中。市職員用の長靴置き場の入口に、消毒ポイントを設置するための準備を行っている。来庁者用の消毒については現在検討中。

(市長) 養豚場への対策は行っているか。

(経済部長) 千曲市の養豚農家は1件だけだが、国が1/2、県が1/4、市が1/4の補助事業により、防護柵を設置する。養豚農家で豚コレラが発生した場合は、発生から24時間以内に殺処分、72時間以内に埋設処分をすることになる。

(市長) 最悪の事態に備えて、どこに埋設するのかを決めておく必要があるのではないか。

(経済部長) 処分頭数にもよるが、埋設地は勾配も勘案する必要があり、広い土地に深い穴を掘り、ブルーシートを敷いたうえで巨大な袋に入れて埋設となる。石灰で消毒もするが場所が問題になる。

(市長) 市内の養豚農家には何頭いるのか。

(経済部長) 1,000頭を飼育している。当面は野生動物の侵入防護柵と防鳥ネットを張ることしかやりようがない。既に養豚農家が業者から設置費の見積もりを取っている。防疫自体は県が行うが、埋める場所については市町村に協力依頼がきている。市職員の消毒等のための人員確保等、早めに手は打っている。

(市長) 他自治体から話を聞くと、相当急いで対応しなければならず、大変だったようだ。事前に準備をしておかないと、いざという時に機能しなくなる恐れがある。

(経済部長) 木曾から松本、諏訪までが監視強化区域に指定され、千曲市は通常監視区域となっている。

(市長) 長野市長も態勢を整えたいと言っていた。イノシシは山を移動しているため、どこから入ってくるか分からない。イノシシの行動範囲はとても広いようだ。

(副市長) 一晩で相当な距離を移動するようだ。

(経済部長) 万が一、陽性反応が出たら半径 10 km 圏内は監視区域に指定される。

(企画政策部長) 何年か前に、鳥インフルエンザ関連で特別な態勢を取ったことがあった。

・協議結果

豚コレラについては、ここで結論は出ないため、経済部においてあらかじめ対策を考えておくこと。ただし危機的な状況にあるため、場合によっては全庁的な対応とする。その他については、各部において関係する資料を確認し、業務に活用すること。

(2) 千曲市総合防災訓練の実施について【総務部】

・説明

(危機管理防災課長) 今年度の総合防災訓練の重点地区会場は五加小学校で、9月8日(日)に実施する。糸魚川・静岡構造線北部を震源とする地震が発生し、千曲市では震度6強の地震が発生したと想定して訓練を行う。地震に伴い、交通機関の遮断やライフラインの施設に大きな被害が生じ、また山崩れ、河川・堤防の決壊が発生するということも想定にしている。重点目標として、避難行動要支援者をどうやって避難させるかということ、この機会に考えていただきたい。参加機関として、今回初めて陸上自衛隊第13普通科連隊 松本駐屯地からの参加を依頼している。【資料1参照】

・質疑等

(市長) 今年の防災訓練の特徴は何か。マンネリ化も指摘されている。

(危機管理防災課長) 重点地区の皆さんにとっては、9年に1度しか行われない訓練であるため、関係機関の訓練を見てもらうことは良い機会だと思う。また我々も関係機関との訓練は年に1度しか行わないため、必要な訓練だと考えている。避難行動要支援者名簿を活用した訓練は、個人情報の課題があるため難しい面もあるが、車椅子を市から各区に貸し出して避難に活用していただく。また住民参加型の訓練内容を充実し、住民が体験できる訓練を多くしている。防災訓練の参加者は約1,000名で、体験訓練には各区に約70名の参加依頼をしているため、総勢300名近くが体験訓練に参加していただく。

(市長) 自衛隊はどのような形態で訓練に参加するのか。

(危機管理防災課長) 自衛隊は車両で校庭内を移動し、先遣隊として被害状況調査を行う。その状況によって本隊を要請するという内容になる。

(総務部長) 以前、市長から「今何の訓練をやっているのか分からない」という指摘があったため、昨年からアナウンスの仕方を工夫している。

(3) 千曲市男女共同参画計画について【健康福祉部】

・説明

(人権・男女共同参画課長) 7月11日(木)に男女共同参画推進会議を開催し、平成30年度の事業報告と令和元年度の事業計画の資料をお示しした。併せて第3次計画が本年度に終了することから、第4次計画の策定についても審議していただいたが、現行の第3次計画の変更で進めさせていただきたい。この内容については7月30日(火)に男女共同参画審議会を開催し、委員から了承をいただいている。変更は、現行計画の期間を1年延長する。また、平成27年公布の女性活躍推進法に定める「市町村推進計画」として位置づけ、計画の中に明記する。併せてDV防止法の「市町村計画」として位置づけられているが、該当部分が不明であったため明記した。変更の理由としては、男女共同参画社会基本法に、市町村は国や県の計画を勘案して計画を策定することとなっているが、千曲市の計画は国や県の計画より1年先行した形で策定されている。このため、国の第4次計画(平成27年12月25日閣議決定)の基本的な考え方が加味されていない状態であることから、今回、1年延長することで、次期計画から国や県と同じ計画期間となるようにする。【資料2参照】

・質疑等

(総務部長) 国や県の計画期間に合わせるということか。

(人権・男女共同参画課長) そのとおり。県も先月に審議会を開催しており、県第5次計画の策定について審議している。アンテナを高くして、県及び国の情報を収集しながら、早めに準備に取りかかりたい。

(総務部長) 昨年度に行ったアンケートの結果は計画に反映されるのか。

(健康福祉部長) 計画に活かしていく。

(人権・男女共同参画課長) 県も今年度、県民意識調査を行う。7月11日(木)の推進会議後、各部長に説明せずに推進会議の会長である副市長と担当課で協議し、期間を延長する方向で審議委員等と相談しながら進めさせていただいたため、今回部長会議の議題とした。

・協議結果

承認する。

4. 各部長からの報告事項等

【総務部長報告】

8月の引っ越し作業は、大きなトラブルもなく終了した。今までと環境が変わるため、慣れるまでは色々なことがあると思う。不満等もあると思うがご理解をいただきたい。不満や要望を内部で言うのはよいが、外部との会話には気を付けて欲しい。個人の意見が市全体の意見と捉えられてしまう。

9月1日(日)に市長表彰式典、2日(月)には開庁式、8日(日)には防災訓練と行事が続く。各部長の協力をお願いしたい。

【企画政策部長報告】

9月2日(月)に第2回政策等説明会を開催する。まだまだ課題が多いが、試行を通じて良

いものにしていきたいと考えているため、ご意見があれば私に連絡をいただきたい。

【健康福祉部長報告】

敬老祝い事業で9月26日（木）に市長が100歳の表敬訪問を行う。7月1日現在で、市内の100歳は31名、88歳が440名いらっしゃる。

来年度に向けて新包括支援センターの準備をしているが、9月3日（火）に選定委員会を開催する。現在のところ2業者から申し出がある。決まったら報告する。

8月9日（金）に保健師が訪問活動をしていることに対してNHKの取材があった。その放送が10月3日（木）にある。千曲市の健康寿命の延伸と医療費の適正化に向けた取り組みが、少しずつ結果が出てきたことを受けての取材であった。健康寿命については、県も全国的に高い方であるが、千曲市はそれよりも高い。一人当たりの国保医療費は、長野県の19市中上位にあったが、ここ2年は下がってきている。国保特定保健指導の実施率は、全国1,738市町村中、30位（19市中1位）となっている。

・質疑等

（市長）我が市は、全市民を挙げて健康に取り組むというものがない。健康チェックシートのようなものがない。健康運動をやっていかなければいけないのではないか。目標を掲げてやる施策はないものか。保健師が個々に対応していることは承知しているが、全市的な運動の中で健康寿命の延伸に取り組んでいきたい。早急に手を打ってほしい。

（健康福祉部長）承知した。

【経済部長報告】

先ほど、倉科で熊がくくり罠に捕まったという連絡が入り、現場へ急行している。前回と同じ場所で捕まったが、調べたところ前回とは別の個体であった。前回は学習放獣で放したが、今回はワイヤーが長いくくり罠であったため、県に報告して現在対応中である。

現在、色々な集会所等について、公共施設総合管理計画の方針の中で、対応を検討していると思うが、縦割り組織で個々バラバラに対応するのではなく、同一歩調で進める必要があると感じている。

（娯楽観光会館の指定管理者について説明）

令和2年度の集団転作について、8月20日（火）の千曲市農業再生協議会において実施計画が承認された。基本的には従来どおりだが、国の大きなコメ政策の変更がない限り、市内を大きく4つに分けてブロックローテーションを組んで減反政策に取り組む。

10月5日（土）にみんなで育てる協働の森づくりの育樹祭が行われる。

・質疑等

（総務部長）指摘のあった公共施設の個別計画についてはそのとおりだと思う。方針は既に示されているので、足並みをそろえて計画に沿って各担当部署において対応していただきたい。娯楽観光会館の指定管理者については、この後に指定管理者の選定委員会があるので、そこでも議論する。

【議会事務局長】

9月議会が始まる。先般、市長に議場の照明等についてチェックしていただいた。議会が始まる前に各部長にも新しい議場に慣れていただくための時間を設けたい。9月3日（火）の議会運営委員会以降にご案内する。

【教育部長報告】

8月24日（土）から森將軍塚古墳館の秋の企画展が始まっている。9月1日（日）から越ちひろ展が始まる。

【教育長報告】

高校改革の地域協議会に、市長、教育部長と一緒に出席した。市長から「少子化と言うが、これから増加する外国人労働者の子弟の数が含まれていない」という発言が注目された。

屋代南高校も入りたい学校となっている。ここ数年、競争倍率も県下のベスト3に入っている。入学した後の生徒の満足度が90%となっている。保護者が入学させてよかったという割合も85%となっている。生徒の地域貢献が高く、各種コンテストでも入賞している。地元区長会等から通学態度への評価が高い。我々も存続に向けて一生懸命頑張っまいるたい。

・質疑等

（市長）屋代南高校は経済界からも評価が高い。地元企業へも就職している。特色のある学校である。

【副市長訓示】

屋代の開発事業については、その都度会議を開催している。前向きにどんどんやっていかなければいけない。安易にできないとは言わない。できるためにはどうしたらいいのか。できるのであれば、いつまでに何ができるのかを示していかないと前に進んでいかない。現在、関係部署を中心にやっているが、全庁を挙げて取り組みたいので、皆さんにも状況をお知らせし、協力をいただきながら進めてまいりたい。

来年度の職員採用試験の面接官をやらせていただいた。なかなか良い人材が来ていると思った。県外からも優秀な人材が試験を受けに来ている。これからも千曲市の名を売って、実績を挙げていけば、優秀な人材が千曲市に注目して働いてみたいと思うようになるので、そういう意味でも皆さんと一緒に前向きに頑張っていきたい。

5. その他

（総務部長、総務課長、総合政策課長、秘書広報課長から事務連絡）

6. 閉 会